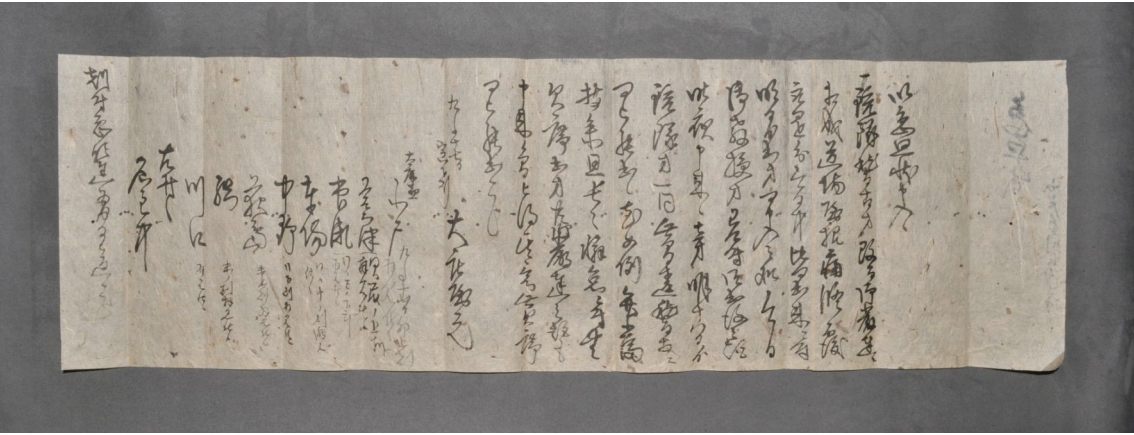


中蒲原郡新津組大庄屋桂家文書

寛保元年から明治維新に至るまで新発田藩新津組の庄屋を務めた桂家旧蔵文書の一部にあたります。桂家文書は、昭和５３年に故桂誉達から新潟県に寄贈され、昭和５６年に新潟県文化財収蔵館に移管されたものです。ほとんどが寛政期から明治初年にかけての、大庄屋を通して組内村々へ出された文書です。なかでも元治年間に新発田藩が創設した農兵隊に関する資料は貴重です。また「元治元年銃隊一件書類」「急廻状（銃隊稽古）」など銃隊関係の文書が約１００点あります。

享保9年～大正12年 3,711点

(請求記号：E9103)



慶応3年9月17日銃隊稽古につき急廻状

銃隊の稽古の日程を伝える急ぎの廻状。新発田藩新津組の大庄屋元から、8か村の名主に宛てられている。各村名の下部には、廻状拝見の日付や時刻が記されている。